

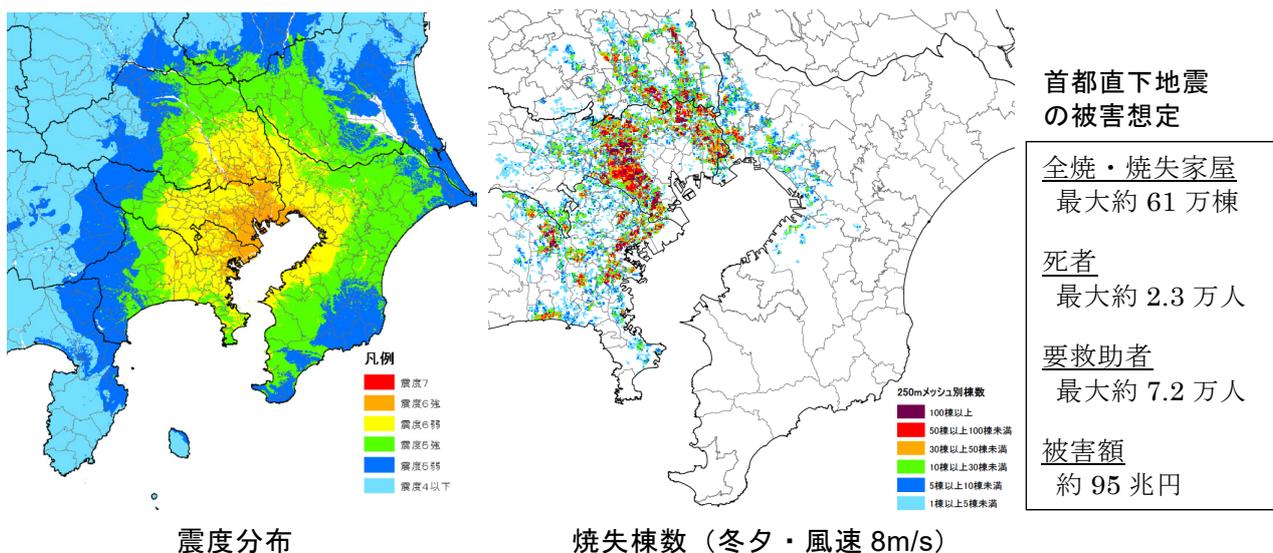
トピックス

■ 建築物の耐震化に関する動向

2019年1月29日付で、国土交通省より「首都直下地震対策計画 [第2版]」が発表されました。この計画の中では、東京都の都心部を中心に約18万棟の家屋等が全壊する等の深刻な事態（下図）が想定される大規模災害に対して、首都圏の人命を守り、首都中枢機能を継続し、迅速な復旧・復興を達成するため、7つの重要テーマと17の重点対策が掲げられています。

この中では、事前の対策として、住宅・建築物の耐震化に関して、改正「建築物の耐震改修の促進に関する法律」や耐震化に係る支援の充実により、住宅の耐震化率及び多数の者が利用する建築物の耐震化率について、2020年までに少なくとも95%とし、2025年までに耐震性が不十分な住宅及び耐震診断義務付け対象建築物を概ね解消するとの目標が記されています。ここで、耐震診断義務付け対象建築物とは、①不特定多数の者が利用する大規模建築物、②地方公共団体の指定する避難路沿道建築物、③防災拠点建築物を指します。

特に①不特定多数の者が利用する大規模建築物に関しては、2019年6月時点で全国の学校（小学校、中学校等）の耐震化率が99%と概ね完了する一方で、病院が55%、百貨店・店舗が64%、ホテル・旅館が55%、飲食店が37%等、耐震化の進行が遅いものもあります。この要因としては、耐震工事期間中に営業を停止することが難しいことが一つの理由と考えられ、静かに（Quiet）早く（Quick）高品質（High-Quality）という3Q-Wall工法及び3Q-Brace工法の特長や、2017年より実用化した3Qダイアキャスト®の装飾品と見紛う意匠性が活かせるものと期待されます。パンフレット、技術資料の用意もありますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。



（出典）

国土交通省：首都直下地震対策計画 [第2版]，2019.1

中央防災会議首都直下地震対策検討ワーキンググループ：首都直下地震の被害想定と対策について，2013.12

活動状況 報告

2018年12月の総会で承認されました事業計画に基づく、2019年度の活動状況の概要等についてご報告いたします。

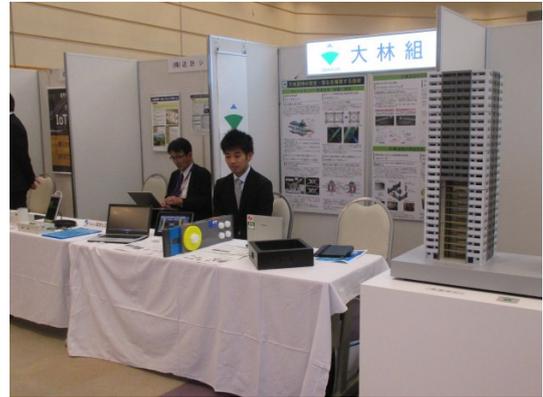
■ 3Q-Wall 及び 3Q-Brace 工法の技術 PR

(1) 雑誌類への広告掲載

日経BP社発刊「日経アーキテクチュア」（発行号11月14日）へ広告を掲載しました。

(2) 「第15回日本地震工学シンポジウム」技術展示

2018年12月6日～8日に仙台国際センターで開催された、第15回日本地震工学シンポジウムの技術展示において3Qシリーズ(3Q-Wall及び3Q-Brace)を紹介しました(右写真)。



日本地震工学シンポジウム技術展示

(3) 「第57回日本接着学会年次大会」特別講演

2019年6月19日～20日に北九州国際会議場で開催された、第57回日本接着学会年次大会の特別講演において、3Q-Wall工法を紹介しました。

表題：エポキシ樹脂を用いた既存不適格建築物の耐震補強工法の紹介

■ 3Q-Wall 工法及び 3Q-Brace 工法の技術講習会を開催

3Q-Wall工法及び3Q-Brace工法の技術講習会を、東京、大阪の2会場で開催しました。講習会では、①2013年11月25日に施行された耐震改修促進法の改正に基づく「要緊急安全確認大規模建築物」の耐震性の現状、②3Q-Wall、3Q-Braceの施工要領及び施工事例、について説明を行いました。また、特別講演として、大林組川端部長殿より建物を使いながらの免震ゴムの交換工事における作業手順や注意点について、事例を交えてご紹介いただきました。

大阪会場 2019年9月20日(金) ダイビル本館6階 (12名受講)

東京会場 2019年11月15日(金) 大林組東京本店14階 (10名受講)



大阪会場開催状況



東京会場開催状況

3Q-Wall と 3Q-Brace の施工実績

「3Q-Wall 工法」は、2001年7月に実用化されて以来、その施工件数は332件(施工面積38,195m²)になりました。ここには3Qダイアキャスト(鑄鉄製ブロック)による耐震補強も含まれています。また2010年に実用化した「3Q-Brace 工法」の施工件数も、27件(施工面積4,623m²)に増加しました。両工法を合わせた施工件数は、355件、施工面積は42,818m²になりました。

3Q-Wall の施工件数と施工面積の推移

2019年11月末現在

施工年	2010年以前	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
施工件数(件)	205	19	19	8	9	21	15	18	14	6
施工面積(m ²)	27,506	1,584	1,531	727	992	1,901	1,125	895	1,542	391
延べ件数(件)	205	224	243	251	260	281	296	314	328	332
延べ面積(m ²)	27,506	29,090	30,621	31,348	32,340	34,241	35,366	36,261	37,804	38,195

3Q-Brace の施工件数と施工面積の推移

2019年11月末現在

施工年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
施工件数	3	3	2	3	4	2	4	2	3	1
施工面積(m ²)	249	211	68	987	416	76	668	1,201	358	389
延べ件数	3	6	8	11	15	17	21	23	26	27
延べ面積(m ²)	249	460	528	1,515	1,931	2,007	2,675	3,876	4,234	4,623

新規入会 会員紹介

2018年12月(昨年度の総会)以降、以下の方が新規に入会されました。

賛助会員：(株)内田建築設計事務所

2019年11月現在で、正会員25社、賛助会員63社、特別会員1社、計89社となりました。

編集後記

今年も台風による河川の氾濫や大規模な停電等、大きな被害が発生してしまいました。被災されました皆さまには心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

水害には目を覆うばかりであります。地震でも熊本地方、北海道胆振地方、山形県沖において、最大震度6弱・6強に達するものが頻発し、被害も出ています。2025年までに耐震性が不十分な建築物を解消するという我が国の目標に対し、耐震補強工事もいよいよ大詰めです。当研究会でもラストスパートと考え、3Q-Wall 及び 3Q-Brace の特長を積極的にアピールし、工法の普及を図って参りたいと考えております。

3Q-Wall 工法研究会 事務局： 〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 1-1 住友市ヶ谷ビル 11階
株式会社 内外テクノス 東京商事部内 藤井 洋宣
Tel.03-5261-3415 / Fax.03-5261-3416